

只木ゼミ前期第1問検察反対尋問レジュメ

文責:1班

I. 反対尋問

- 5 1. 1頁31行目「条理」について倫理的義務を過度に取り込むこととなり作為義務の認定の基準が不明確ではないか。
2. 3頁18行目「法令や条理、慣習などの事情は存在していない。」とあるが、Aを轢いたという危険な先行行為により作為による結果発生防止を要する状況を作り出したものは作為義務を負わないのか¹。
- 10 3. 刑法上の作為義務は道徳的なものでなく法的義務であるとしながら、条理をもち出すのは妥当でないのではないか。
4. 例え弁護側が採用するA説によっても道路交通法72条で法令上の救護義務が認められないか。

以上

¹ 山中敬一『刑法総論I〔初版〕』（成文堂、1999年）222頁。